

東芝デマンド監視制御装置
TOSDEMAMCシリーズ
KH8形デマンド監視制御装置
取扱説明書

株式会社 **東芝**

このたびは、KH8形デマンド監視制御装置をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの本装置を正しくお使いいただくために、御使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

~~~~~ 御注意とお願い ~~~~~

1. 使用開始直後、又は長期間不使用後に再度使用する場合には、停電補償用バッテリーは充電不足状態のときがあります。このときは停電補償時間が十分得られませんが、24時間通電（AC100V）すれば回復します。
2. ご使用に際しては必ず「接地」してください（6ページ参照）。
3. プリンタの用紙は必ずAC電源投入前にセットしておいてください。
また用紙交換はデマンド時限および正時を避けておこなってください（12ページ参照）。
4. AC電源を2週間以上「OFF」にする場合は、バッテリーを過放電させないために、「停電補償用バッテリースイッチ」を「OFF」にしてください。
5. 本装置は雷サージ保護回路を内蔵しています。耐電圧試験、絶縁抵抗試験は、リアパネルの「E」と「FG」間を短絡しているショートバーを外してからおこなってください。
6. 本装置の負荷制御出力は（停電前がしゃ断状態であっても）装置停電中は投入状態になります（9ページ参照）。

※取引用計器からパルス貸出しを受ける場合は、事前に電力会社へ御相談ください（管理用計器からの場合はその必要はありません）。

目 次

1. 装置の概要	1
1.1 付属品	1
1.2 各部の名称と機能	2
1.2.1 フロントパネル部	2
1.2.2 リアパネル部	3
2. 製品の取付け、接続	4
2.1 取付け	4
2.2 接続	5
2.2.1 電源および接地	6
2.2.2 パルス入力	6
2.2.3 時限同期入力	6
2.2.4 警報出力	7
2.2.5 負荷制御出力	8
2.2.6 データ出力1（カレントループ出力）	10
2.2.7 データ出力2（RS-232C出力）	11
3. 取扱い	12
3.1 動作準備と確認	12
3.1.1 用紙のセット	12
3.1.2 電源投入から設定まで	13
3.2 操作方法の基本	14
3.2.1 モード切替	14
3.2.2 キーボード操作	14
3.2.3 設定方法	15
3.3 設定項目	16
3.3.1 一般設定項目	17
3.3.2 負荷制御に関する設定	22
3.3.3 時間帯設定	25

3.3.4	スケジュール制御設定	29
3.3.5	その他の設定	36
4.	緊急時の処置	38
5.	保守・点検	39
付1.	動作原理	40
付2.	印字例	42
付3.	設定項目一覧	46

1. 装置の概要

1.1 付属品

開梱後，下記付属品をご確認ください。

表1 付属品リスト

記録用紙（感熱紙）	5 巻
圧着端子（端子台 M4 用）	50 個
電源ヒューズ（ガラス管形 5A）	1 個
ラックマウント用金具	2 個
取扱説明書	1 部

1.2 各部の名称と機能

1.2.1 フロントパネル部

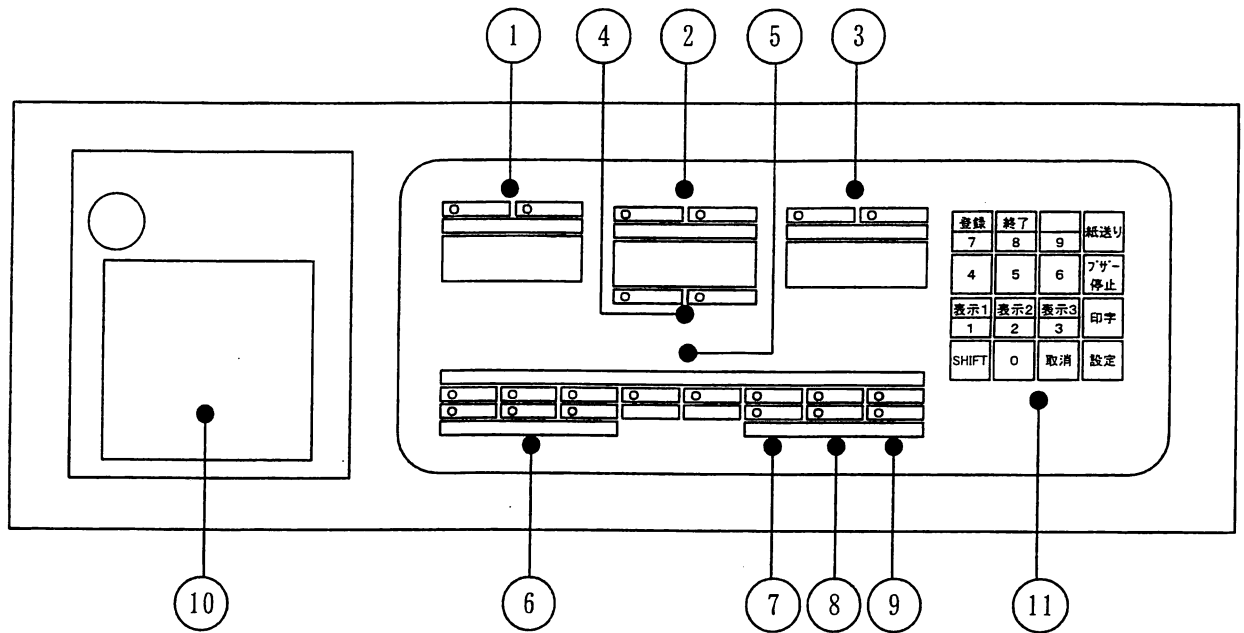


図1 フロントパネル

- ① 予測電力/目標電力表示 予測電力と目標電力を切替表示します。切替は、

SHIFT
表示1 1

 キーを押しながら

表示1 1

 キーを押しておこないます。

- ② 現在電力/調整電力表示 現在電力と調整電力を切替表示します。切替は、

SHIFT
表示2 2

 キーを押しながら

表示2 2

 キーを押しておこないます。

- ③ 残り時間/現在時刻表示 残り時間と現在時刻を切替表示します。切替は、

SHIFT
表示3 3

 キーを押しながら

表示3 3

 キーを押しておこないます。

- ④ 超過/余裕表示 予測電力 \geq 目標電力のとき超過として
 予測電力 $<$ 目標電力のとき余裕として表示します。

- ⑤ 負荷制御 A～Hまで8回路の負荷制御状態を表示します。
 (点灯：投入，消灯：遮断)

- ⑥ 警報表示 1段，2段，限界の警報発令状態を表示します。
 (点灯：警報発令)

- ⑦ 停電表示 停電補償時間をこえる停電があった場合、点灯します。
このときには以前の設定内容は消えていますので再設定が必要です。再設定後、「デマンド開始」設定（17ページ）をすると停電表示は消えます。
- ⑧ 異常表示 装置自体の動作異常を検出（自己診断機能）した時に点灯します。
- ⑨ 電源表示 電源 ON 状態を表示します。
- ⑩ プリンタ 正時，日報，月報等各種電力管理データを印字します。
- ⑪ フラットパネルキーボード 設定項目および各種データの入力を行います。

1.2.2 リアパネル部

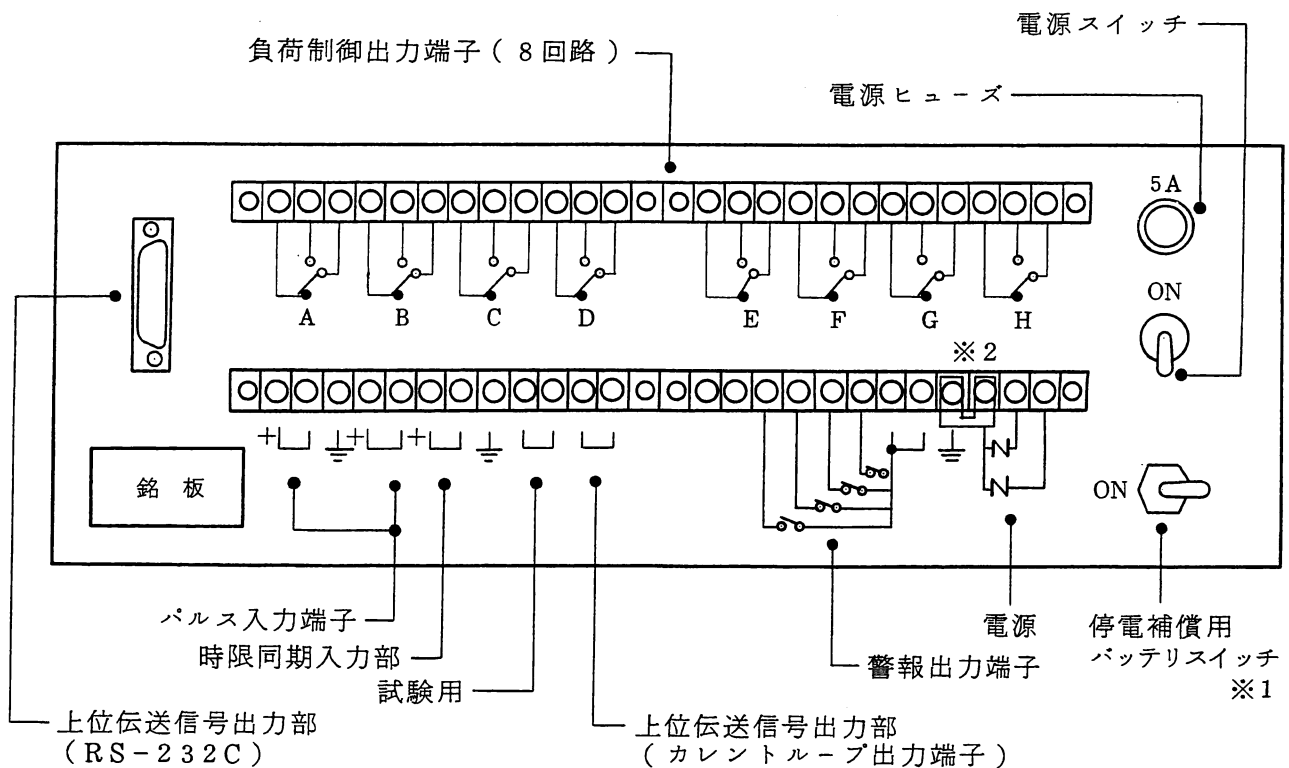


図2 リアパネル

- ※1 ロック式なので引っぱってから切替えます。
長時間運転停止するときは「OFF」にします。
- ※2 通常は雷サージ保護のためショートバーで接続しておいてください。
耐電圧試験および絶縁抵抗試験のときはこれを外してください。

2. 製品の取付け, 接続

2.1 取付け

本装置は卓上形／パネル取付形共用構造となっています。

パネルまたはラックに取付けの場合は、本体底部からゴム足（4個）を外し、本体後部を支持してください。

前面部の固定には、付属の「ラックマウント用金具」をご使用ください。本装置の外形

・取付け寸法を下図で示します。

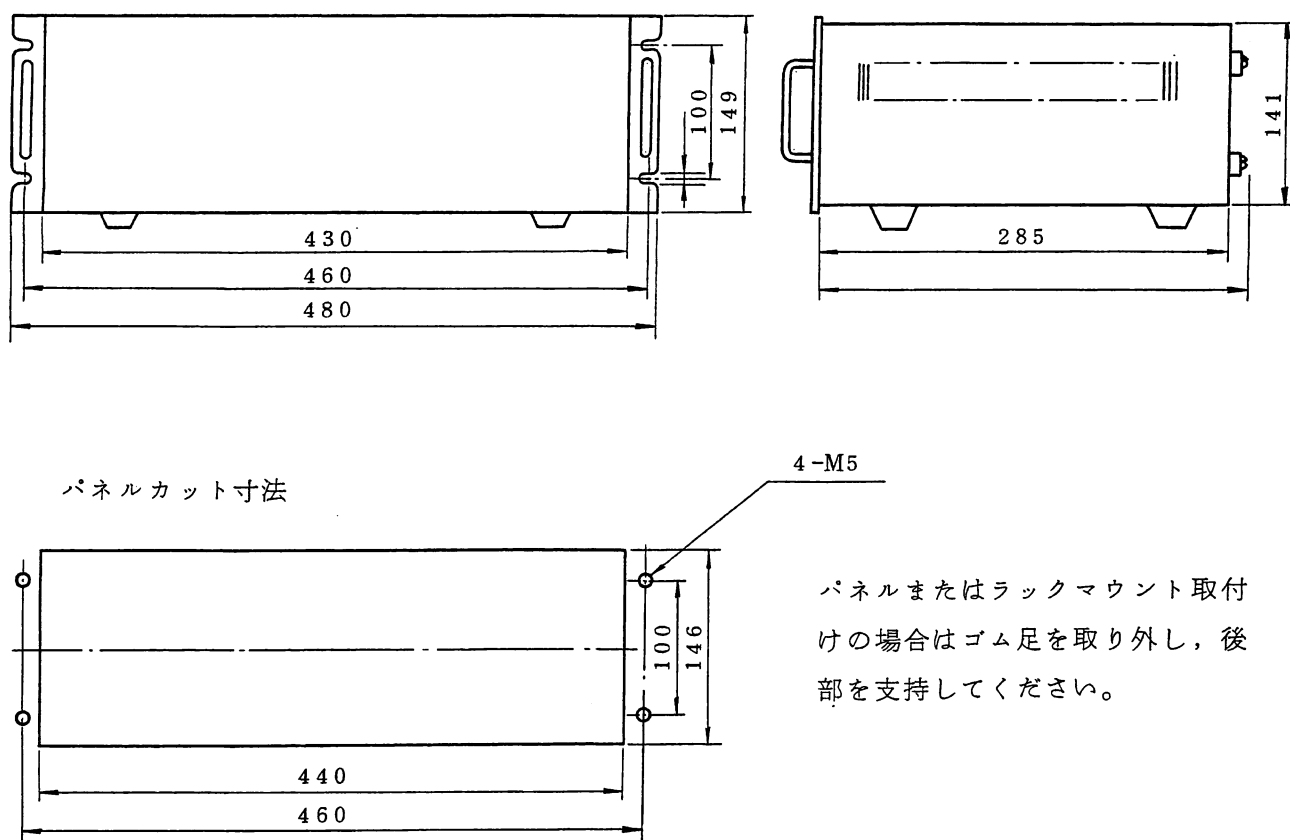


図3 外形・取付寸法

2.2 接 続

接続は、図4システム構成図および図5端子配列図を参考におこなってください。

端子台への接続は、付属の「圧着端子」をご利用ください。

信号線と電源線，警報出力線および負荷制御出力線とは，ノイズによる悪影響を避けるため分離して配線してください。

まとめてたばねたり，平行に配線しますとノイズの影響を強く受けることがあります。

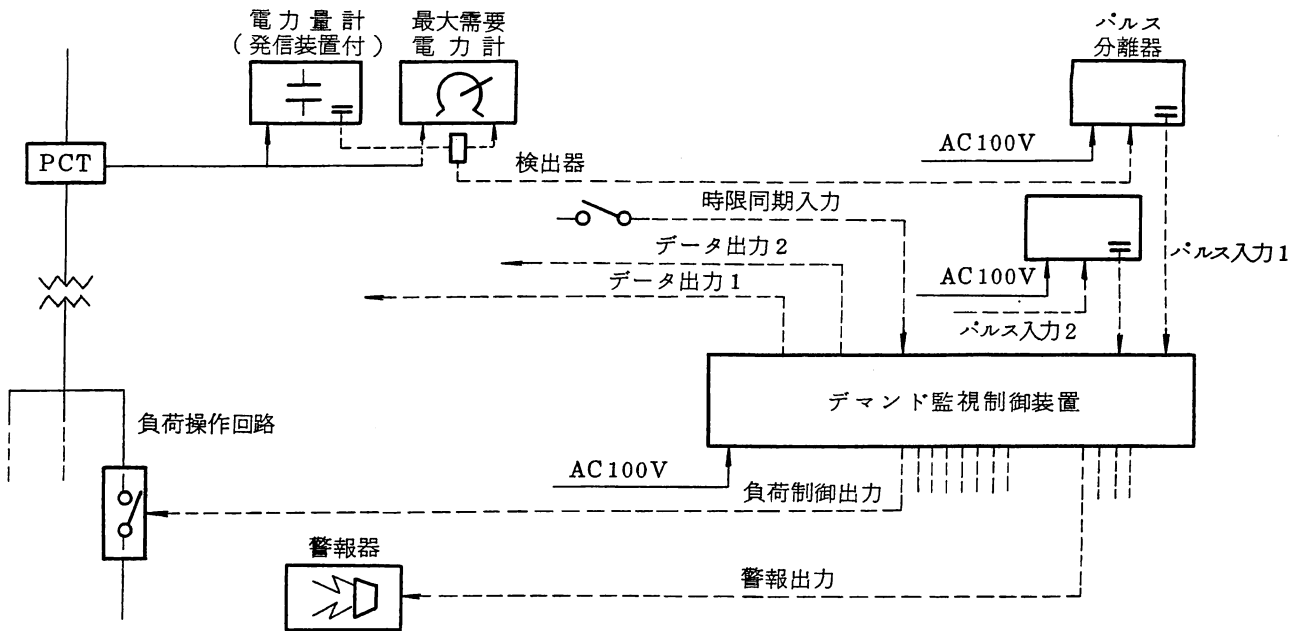


図4 システム構成図

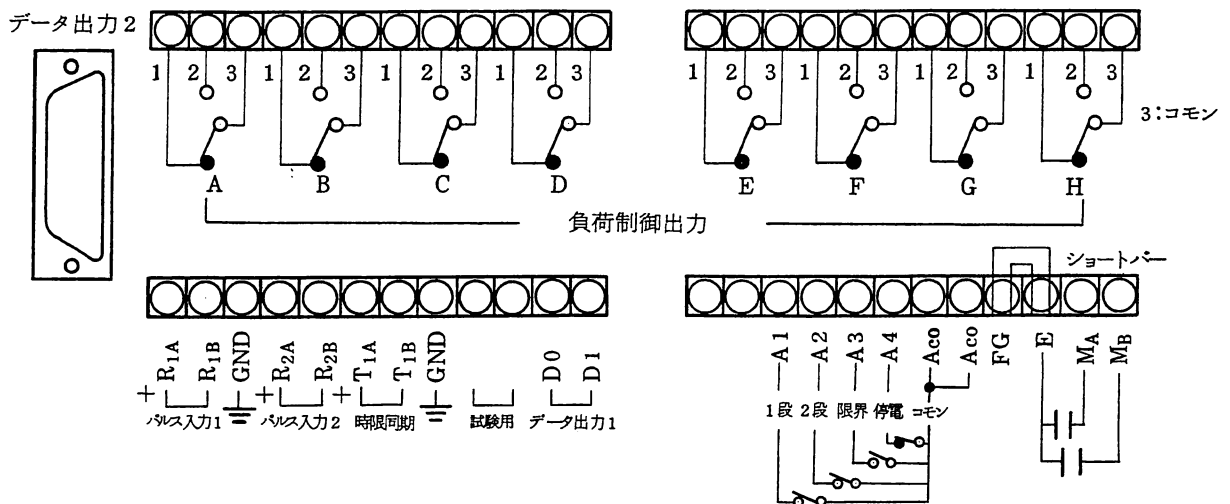


図5 端子配列図

2.2.1 電源および接地

- (1) M_A , M_B 端子間に AC100V 50/60Hz を接続します。
- (2) 電源ケーブルは、 0.75 mm^2 以上のものをお使いください。
- (3) 端子台の「FG」端子は本装置を第3種接地するための接地用端子です。
接地は第3種接地工事（接地抵抗 100Ω 以下）に準じて確実におこない接続してください。必ず実施のこと。
- (4) 端子台の「FG」と「E」の間がショートバーで接続されていることを確かめてください。
- (5) 本装置の各「GND」端子は信号線のシールドを接続する端子です。各信号線のシールドは近くの「GND」端子に接続してください。

2.2.2 パルス入力

- (1) 計量パルス入力用端子として、「 R_{1A} 」, 「 R_{1B} 」と「 R_{2A} 」, 「 R_{2B} 」の2つがあり、パルス分離器からの無電圧接点信号またはトランジスタ（オープンコレクタ）信号を入力します。
- (2) オープンコレクタ信号を接続する場合は、「 R_{1A} 」および「 R_{2A} 」端子にコレクタ側を、「 R_{1B} 」, 「 R_{2B} 」端子にエミッタ側を接続します。
パルス分離器を接続する時は、パルス分離器の取扱説明書をよく読んでから接続してください。
- (3) ケーブルは 0.5 mm^2 以上のCVVS線または相当のシールド付ケーブルを使用してください。
- (4) 各信号線のシールドは近くの「GND」端子に接続してください。必ず実施のこと。
- (5) ケーブルの最大長さ（受信距離）は上記ケーブルを使用したとき、次のようにしてください。

- | | |
|----------------|----------|
| ○無電圧の接点信号の場合 | 2 km 以下 |
| ○オープンコレクタ信号の場合 | 100 m 以下 |

2.2.3 時限同期入力

時限同期入力に接点信号（またはオープンコレクタ信号）を加えることにより、デマンドメータとの時限同期ができます。

なお 3.3.1 No.13 「デマンド時限同期方式」で「正時合わせ」に設定したときは内蔵時計の時刻合わせ（ ± 30 秒補正）用端子になります。

2.2.4 警報出力

出力接点容量は、抵抗負荷で AC220V, 2A max (DC100V, 2A max)

誘導負荷で AC220V, 1A max (DC100V, 1A max)

ですので上記以下でご使用下さい。

警報出力には、1段警報、2段警報、限界警報、停電の4種類の出力があります。

各リレーの出力動作を表2に示します。

表2 警報出力リレー動作表

状 態	警報出力リレー				LED表示					ブザー
	第1段	第2段	限界	停電	電源	停電	第1段	第2段	限界	
電源投入時 停電補償され なかったとき					○	○				鳴動
デマンド監視動作中 デマンド動作 開始時					○					—
第1段警報発令時					○		○			鳴動
第2段警報発令時					○		○	○		鳴動
限界警報発令時					○		○	○	○	鳴動
停 電 中										—

○印：表示点灯

注) 停電復帰時(停電補償された場合)には、停電前の警報リレー出力状態にもどります。

※1 限界警報は第1段、第2段警報の状態にかかわらず発令されることがあります。

※2 限界警報が発令されても、第1段、第2段警報が発令されない場合もあります。

2.2.5 負荷制御出力

出力接点容量は、抵抗負荷 AC220V, 2A max (DC100V, 2A max)

誘導負荷 AC220V, 1A max (DC100V, 1A max)

ですので、上記以下でご使用ください。

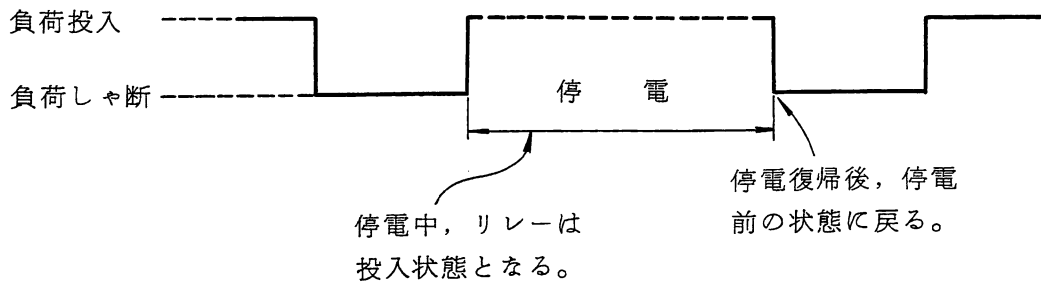
負荷制御出力はC接点出力です。

負荷制御リレー出力動作をまとめると表3のようになります。

表3 負荷制御リレー出力動作表

状 態	負荷制御リレー状態	LED表示
電源投入時 停電補償され なかったとき		点 灯
デマンド監視制御 による負荷シャ断時		対象負荷 LED 消灯
スケジュール制御 による負荷シャ断時		
デマンド監視制御 による負荷投入時		対象負荷 LED 点灯
スケジュール制御 による負荷投入時		
手動制御による負 荷投入時		対象負荷 LED 点灯
手動制御による負 荷シャ断時		対象負荷 LED 消灯
停 電 中		消 灯

注) 負荷しゃ断状態で，停電があった場合，下図に示すように停電中，リレー出力は負荷投入状態になります。停電復帰後，リレーはすぐ停電前の状態に戻りますが，場合によって負荷が一瞬投入されることがありますのでご注意ください。

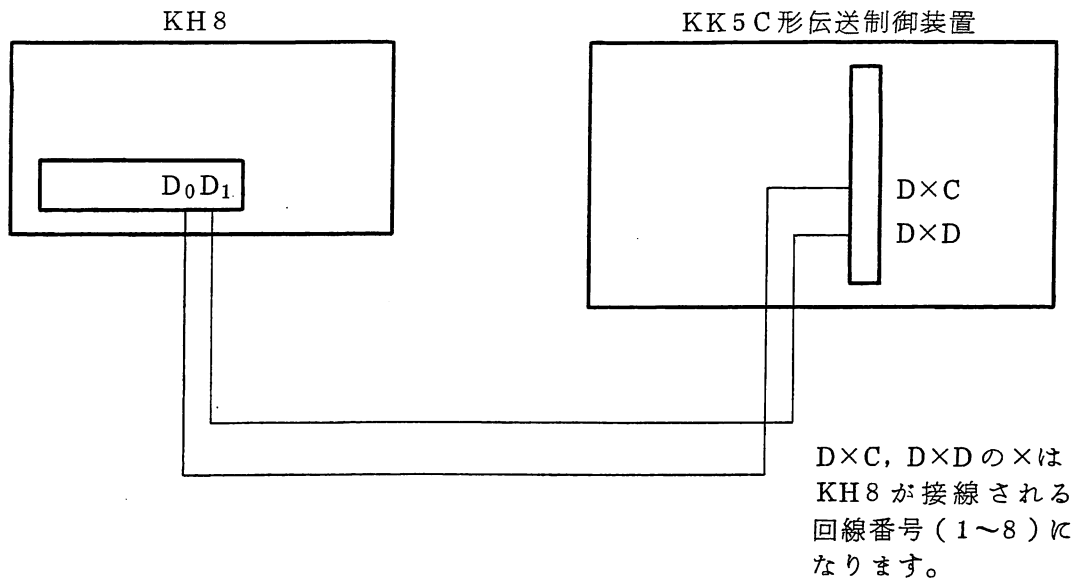


2.2.6 データ出力1 (カレントループ出力)

データ出力端子「D₀」、「D₁」は、当社製品(電力管理モニタTOSCAM160)に出力するためのものです。

出力信号の伝送距離は1km以下(CPEV-φ0.9 シールド付ケーブル使用)としてください。

「電力管理用モニタ」と接続するとき



2.2.7 データ出力2 (RS-232C)

RS-232C モデムコネクタは、パーソナルコンピュータにデータを送信するための端子です。

当製品にパソコンを接続する場合には、パソコンにKH8からの送信テキストを解読するソフトウェアが必要となりますので当社へお問い合わせください。

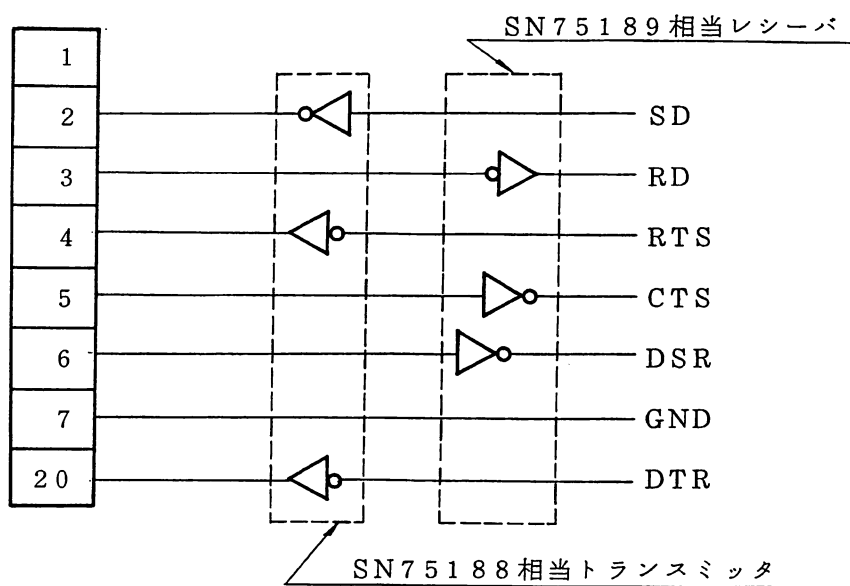


図6 データ出力2 コネクタ内部接続図

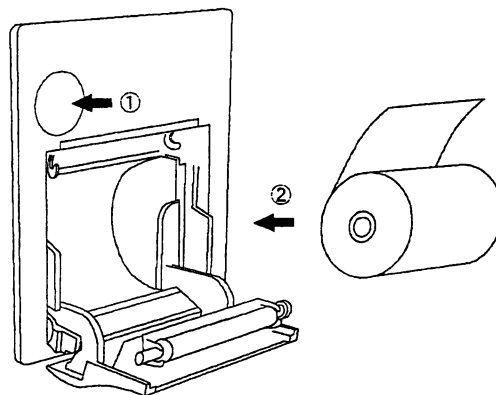
3. 取扱い

3.1 動作準備と確認

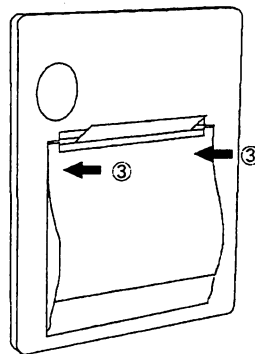
3.1.1 用紙のセット

① リンタのペーパーカバーオープンボタンを押して、ペーパーカバーを開きます。

② 用紙を右図の向きにセットします。



③ 用紙の先端がプリンタの外に出るようにして、ペーパーカバー上面の両端を押し込んでカバーを閉じます。



★注意

(1) 記録用紙は必ず指定のものをご使用ください。

三栄電機製 TP-58-30

(2) 記録用紙の端に赤いラインがあらわれますと、記録用紙の残りが少なくなっていますので、新しい記録用紙と交換してください。また、長期休みの前には記録用紙の残りを確認して、残りが少ない場合には新しい記録用紙に交換してください。

★記録用紙の取扱いについて

(1) 乾燥した冷暗所に保存してください。

(2) 固いもので強くこすらないでください。

(3) 有機溶剤の近くに置かないでください。

(4) 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。

(5) 複写直後のジアゾおよび湿式コピーと重ねないでください。

(6) 粘着テープは記録用紙を変色させることがあります。裏面を両面テープ等で止めるようにしてください。

(7) 汗ばんだ手で触れますと指紋が付いたり記録がぼやけることがあります。

3.1.2 電源投入から設定まで

プリンタに記録用紙が挿入されていることを確認してください。



記録用紙が挿入されていない場合は、3.1.1 用紙のセットを参照して、記録用紙の挿入をおこなってください。

本体の電源スイッチを投入してください。



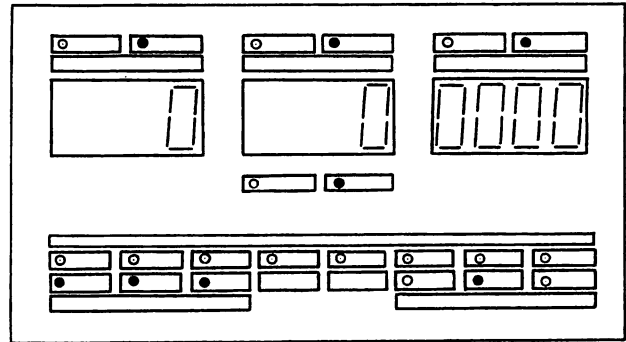
電源投入後しばらくしてブザーが鳴ります。

ブザー
停止

キーを押してブザーを止めてください。

停電補償用バッテリースイッチをONにしてください。

LED表示が右図のようになっていることをご確認ください。



○点灯 ●消灯

SHIFT キーを押しながら、**登録 7** キーを押してください。注1)

※停電のLEDは、デマンド開始を設定すると消えます。

各項目の設定をおこなってください。(3.2 参照)



(3.2 参照)

注1) **SHIFT** キーを押しながら **登録 7** を押すと数字LEDの表示がいったん消えキーボードから入力した数字が表示されるようになります。

デマンド時限合わせをおこなってください。(3.3.1 No1 参照)



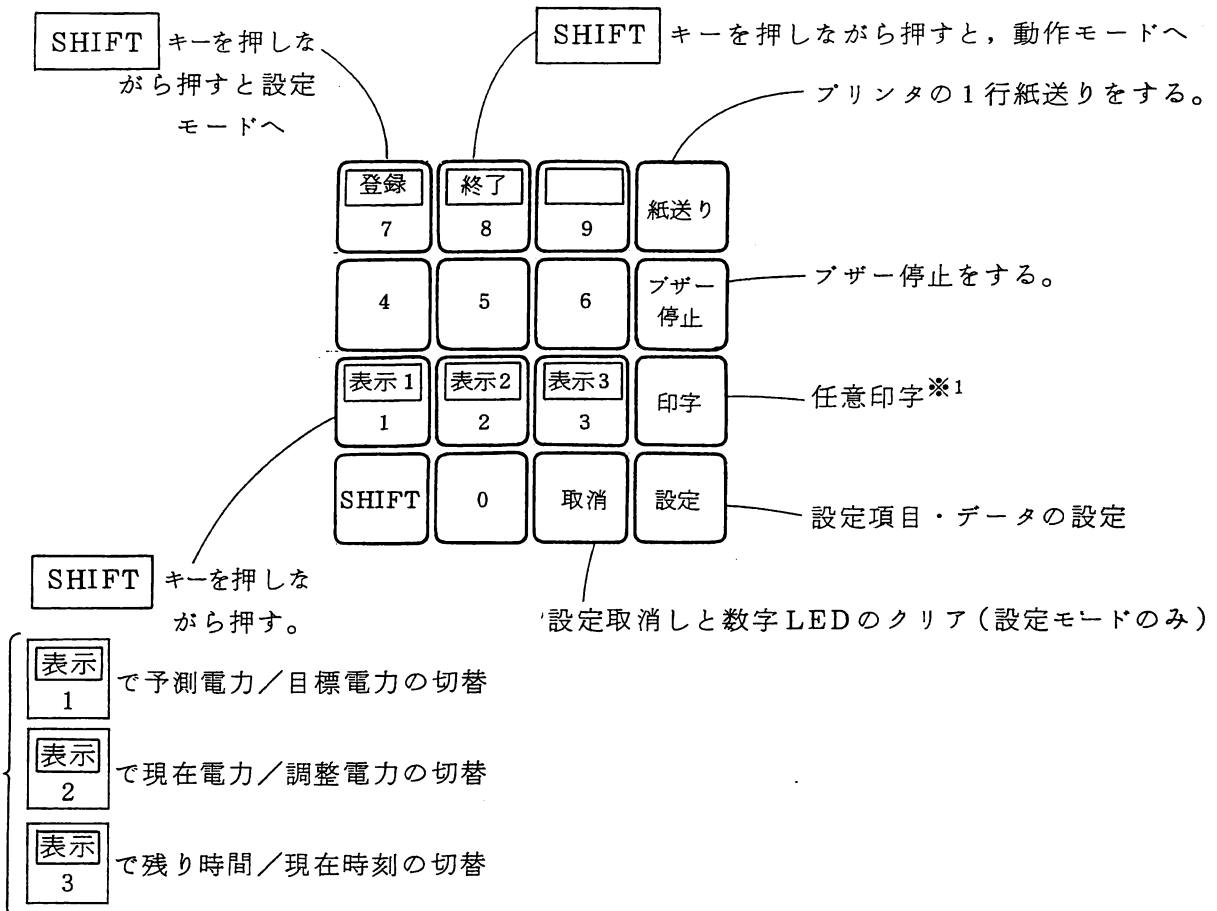
(3.3.1 No1 参照)

3.2 操作方法の基本

3.2.1 モード切替

設定をおこなう場合には、**SHIFT** キーを押しながら **登録** **7** キーを押してください。表示が「設定モード」になり、キーボードからの入力が表示されるようになります。設定が終わりましたら、**SHIFT** キーを押しながら **終了** **8** キーを押してください。表示が「動作モード」に戻ります。

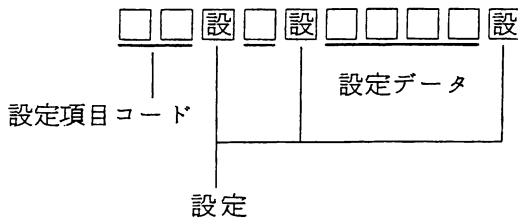
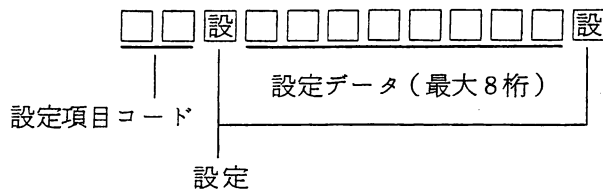
3.2.2 キーボード操作



※1 動作モード時に **印字** キーを押すと、任意印字をおこないます。

設定モード時は、「時間帯指定」、「スケジュール指定」の設定をおこなっている時の確認印字のみで、他の設定中は無視されます。

3.2.3 設定方法

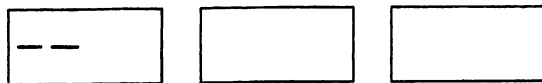


□□設（設定内容によっては□□設□設）と設定項目コードを入力するとその項目の現在のデータが表示されます。（設定項目コードについては3.3.1を参照してください）

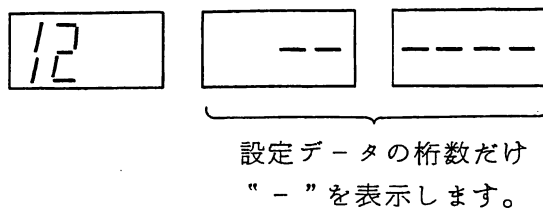
設定変更があれば、新しいデータをキー入力し「設定」キーを押し、変更がなければ、「取消」キーまたは「設定」キーを押し、次の項目設定をおこなってください。

設定項目コードまたは設定データの入力をまちがえて押したときは、エラー表示としてまちがっている箇所に“－”を表示します。

例) ○設定項目をまちがえた時



○設定データをまちがえた時



この場合は、続けて正しい設定をおこなうか、または「取消」キーを押し、再度その項目コードから設定しなおしてください。

3.3 設定項目

設定をおこなう場合は、**SHIFT** キーを押しながら **登録**
7 を押してキーボードからの
入力が受けられるようにしてください。

各種の設定項目がありますが必ず設定しなければならないのは次の項目です。

- | | | | |
|--------------|-------|---------|-------|
| (1) 合成変成比 | | 3. 3. 1 | № 5 |
| (2) シャ断不可能電力 | | // | № 1 4 |
| (3) 目標電力 | | // | № 1 5 |
| (4) 負荷電力 | | 3. 3. 2 | № 1 |
| (5) 時刻 | | 3. 3. 1 | № 2 |
| (6) 日付 | | // | № 3 |
| (7) デマンド開始 | | // | № 1 |

また、取引用計器のパルス定数が 2000 p/kWh 以外の場合は「パルス定数」設定、
合成変成比が 10000 以上の場合は「乗率」設定、デマンド時限が 30 分以外の場合は
「デマンド時限」設定が必要です。

御使用方法によっては負荷制御に関する設定、時間帯に関する設定、スケジュール制御
に関する設定などが必要になります。各設定項目に関する説明をお読みになった上、必要
な項目について設定をおこなってください。

各設定終了後、「設定内容確認印字」をおこなって正しく設定されているかどうかを確
認してください。

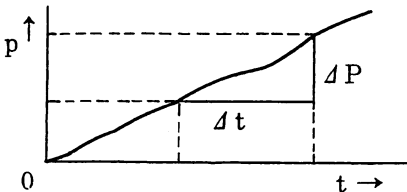
「デマンド開始」設定は最後におこなってください。

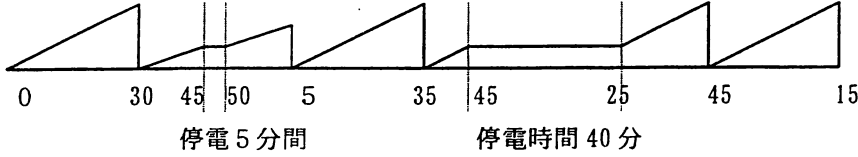
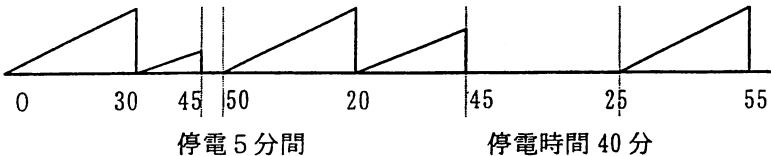
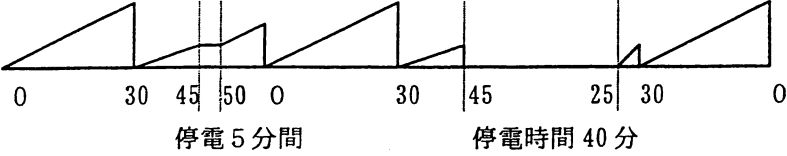
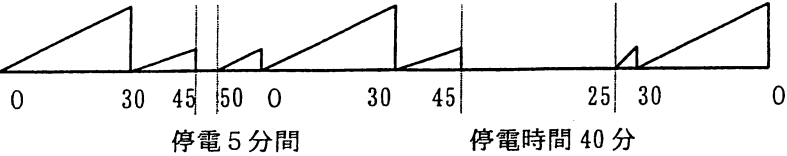
設定終了後 **SHIFT** キーを押しながら **終了**
8 を押して表示を動作状態にもどしてくだ
さい。

※ 取引用計器が時計機能を内蔵した電子式計器の場合、3. 3. 1 № 13 の「デマンド時限
同期方式」を正時合わせ (**2** **2** **設** **1** **設**) と設定してください。

3.3.1 一般設定項目

No.	設定項目	キー操作および内容
1.	デマンド開始	<p><input type="text" value="1"/><input type="text" value="0"/><input type="text" value="設"/></p> <p>デマンドメータの時限更新と同時にこの設定をおこなってください。</p> <p>時間帯取引をされている場合は、各時間帯ごとにこの設定が必要です。ただし、No.13の「デマンド時限同期方式」で「正時合わせ」に設定されている場合はこの設定はいりません。</p> <p>「デマンド開始」をおこなうと前面の「停電」表示が消え、停電警報出力が解除されます。</p>
2.	時刻設定 ※「デマンド同期方式」が「正時合わせ」のときはこの設定を最後におこなってください。	<p><input type="text" value="1"/><input type="text" value="1"/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/></p> <p>時刻の「時」 時刻の「分」（必ず2桁で設定してください）</p> <p>時刻設定をおこなったときに「秒」は0になります。たとえば、 <input type="text" value="1"/><input type="text" value="1"/><input type="text" value="設"/><input type="text" value="1"/><input type="text" value="2"/><input type="text" value="1"/><input type="text" value="5"/><input type="text" value="設"/> と設定すると12時15分00秒と設定されます。</p>
3.	日付設定	<p><input type="text" value="1"/><input type="text" value="2"/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/></p> <p>年 月 日</p> <p>年は西暦の下2桁を設定します。設定範囲は2005年1月1日～2099年12月31日です。</p>
4.	パルス定数	<p><input type="text" value="1"/><input type="text" value="3"/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/></p> <p>パルス入力No (1または2) パルス定数(1～50000)</p> <p>電力量計のパルス定数を設定します。パルス入力1と2の2回路それぞれ設定できます。初期値は2000P/kWhになっています。電力量計のパルス定数が2000P/kWhなら設定は必要はありません。</p>
5.	合成変成比	<p><input type="text" value="1"/><input type="text" value="4"/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value=""/><input type="text" value="設"/></p> <p>パルス入力No (1または2) 合成変成比(1～999999)</p> <p>PT比(トランスの1次側と2次側の電圧比)とCT比(トランスの1次側と2次側の電流比)の積を設定してください。</p> <p>パルス入力1と2それぞれ設定できます。</p>

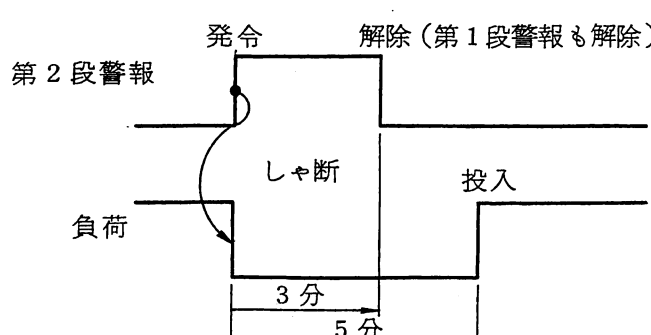
No.	設定項目	キー操作および内容
6.	乗率	<p> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> パルス入力No (1または2) 乗率 (1, 10または100) </p> <p> ※ この設定は、入力1 ≥ 入力2になるよう設定してください。 ふつう合成変成比が5桁の場合、乗率を10、6桁の場合100に設定します。初期値は1になっており、合成変成比が4桁以下なら必要ありません。乗率は表示、印字の各データにかかります。たとえば乗率が100で現在電力表示が1500なら実際には150,000 kWとなります。なお乗率もパルス入力1と2それぞれに設定できます。 </p>
7.	パルス積算時間	<p> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> パルス積算時間 </p> <p> 予測電力や調整電力の演算をするときには Δt 時間の使用電力 ΔP から $\Delta P / \Delta t$ を積算します。この Δt (パルス積算時間) を設定してください。 </p>  <p> 設定範囲は1～5(分)です。 初期設定では1分になっています。 </p>
8.	警報ロック時間	<p> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> 警報ロック時間(分) </p> <p> デマンド時限初期において警報発令および負荷制御を禁止する場合、設定します。 なお、限界警報はこの設定にかかわらず発令されることがあります。 設定範囲は0～60分です。初期値は0分になっています。 </p>
9.	ブザー禁止	<p> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> 1 : ブザー禁止, 0 : ブザー鳴動 </p>

No.	設定項目	キー操作および内容
10.	パルス合成演算	<p> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> 0 : パルス合成しない 1 : パルス1 + パルス2 2 : パルス1 - パルス2 </p>
11.	デマンド時限	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> デマンド時限 (15, 30, 60 分) </p> <p> デマンド時限を設定します。初期値は30分です。 </p>
12.	停電復帰動作	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> 0 : 継続, 1 : 終了 </p> <p> 停電復帰後測定を継続させるのか終了するのかを設定します。デマンド時限同期方式によって動作が変わります。下図を参照して設定して下さい。 </p> <p> 停電復帰動作継続でデマンド時限同期方式がデマンド同期の場合 </p>  <p> 停電復帰動作終了でデマンド時限同期方式がデマンド同期の場合 </p>  <p> 停電復帰動作継続でデマンド時限同期方式が正時合わせの場合 </p>  <p> 停電復帰動作終了でデマンド時限同期方式が正時合わせの場合 </p> 

No	設定項目	キー操作および内容
13.	デマンド時限同期方式	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> ↙ 0 : デマンド同期, 1 : 正時合わせ </p> <p>電力会社の取引用計器が電子式計器または記録計の場合に「正時合わせ」と設定してください。初期値は0です。</p>
14.	シャ断不可能電力	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> ↙ シャ断不可能電力 </p> <p>シャ断できない負荷の合計電力を設定します。設定範囲は0～9999(kW)です。 ※ この設定は、目標電力以下で設定してください。</p>
15.	目標電力	<p> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> ↙ 目標電力 Na(1～5) ↙ 目標電力(0～9999 kW) </p> <p>デマンド監視における目標電力値を設定してください。 時間帯調整契約の場合は、各時間帯(5時間帯)に対応した目標電力値が設定できます。時間帯調整契約をしていない場合は、目標電力1だけ設定してください。 ※ 目標電力が1800以下の場合、目標電力2～5の設定を目標電力と同じにするか、0で設定してください。</p>
16.	プリンタ印字禁止	<p> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="設"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="設"/> </p> <p> ↙ 1 : 禁止, 0 : 印字 </p> <p>この設定で禁止(1)を設定すると、プリンタ印字はすべて禁止されます。初期値は0です。</p>

No.	設定項目	キー操作および内容
17.	項目別印字禁止	<p>不要な印字項目がある場合には、その項目を印字禁止にすることができます。（設定は、0：印字，1：禁止です。）</p> <p><input type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>a <input type="checkbox"/>b <input type="checkbox"/>c <input type="checkbox"/>d <input type="checkbox"/>e <input type="checkbox"/>f <input type="checkbox"/>g <input type="checkbox"/>h <input type="checkbox"/>設</p> <p>a. デマンド時限印字 b. 正時印字※1 c. 警報印字 d. 負荷制御印字 e. 時間帯切替印字 f. 日報印字 g. 月報印字 h. 日報、月報の入力別電力印字</p> <p>※1 1時間の使用電力量を正時に印字します。</p>
18.	日報印字時刻	<p><input type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>時刻 <input type="checkbox"/>設</p> <p>日報を印字する時刻を設定します。 設定範囲は0～23時です。 初期値は0時になっています。</p>
19.	月報印字日	<p><input type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>日付 <input type="checkbox"/>設</p> <p>月報を印字する日付を設定します。 設定範囲は1～31日と0（月末日）です。 初期値は0（月末日）になっています。</p> <p>例) 日報印字時刻を8時に設定し、月報印字日を26日と設定すると、月報は26日の8時に日報を印字したあとに続いて印字されます。</p>
20.	データ出力2 10秒伝送設定	<p><input type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>設</p> <p>1：10秒伝送停止，0：10秒伝送</p> <p>通常，データ出力2では10秒毎にテキストを送信しています。この設定は10秒伝送を停止または再開させるものです。初期値は0です。</p>

3.3.2 負荷制御に関する設定

No	設定項目	キー操作および内容
1.	負荷電力	<p> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> 設 <input type="text"/> 設 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 設 </p> <p> その負荷の電力 (0~9999 kW) 負荷No (1~8 : A~H) </p> <p> デマンド制御する負荷のひとつづつにその負荷の電力を設定します。 ※ 負荷制御しない場合、0と設定してください。 </p>
2.	制御種別 [デマンド制御 スケジュール " 手動 " の設定]	<p> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="0"/> 設 <input type="text"/> 設 <input type="text"/> 設 </p> <p> 負荷制御種別 0 : デマンド制御 1 : スケジュール制御 2 : デマンドとスケジュール制御の併用 3 : 手動制御 (投入) 4 : " (シャ断) </p> <p> 負荷No (1~8 : A~H) </p> <p> ひとつひとつの負荷に上記の制御種別を設定します。設定がなければデマンド制御になります。 なお、各負荷別にちがう種別を設定できます。 </p>
3.	最小制御時間	<p> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="1"/> 設 <input type="text"/> 設 <input type="text"/> 設 </p> <p> 負荷No (1~8 : A~H) 最小制御時間 (0~9分) </p> <p> デマンド制御する負荷に対し、必要があればシャ断から再投入されるまで、または投入から再シャ断されるまでに保持される時間 (最小時間) を設定することができます。負荷ひとつひとつに対し別々の時間を設定することができます。 </p> <p> 例) 最小制御時間 5分の場合 </p>  <p> ただし、最小制御時間の値によっては、負荷シャ断されない場合もありますので、設定する時間を充分検討の上、使用してください。 </p>

No	設定項目	キー操作および内容
4.	優先/サイクリック	<p data-bbox="517 318 767 351"> <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>設 </p> <p data-bbox="730 393 1018 460"> 0：優先制御 1：サイクリック制御 </p> <p data-bbox="549 504 1430 637"> 設定がなければ優先制御として動作します。 優先制御とサイクリック制御のちがいについては次ページをご覧ください。 </p>
5.	制御順位	<p data-bbox="517 681 1139 747"> <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>設 <input type="checkbox"/>A <input type="checkbox"/>B <input type="checkbox"/>C <input type="checkbox"/>D <input type="checkbox"/>E <input type="checkbox"/>F <input type="checkbox"/>G <input type="checkbox"/>H <input type="checkbox"/>設 </p> <p data-bbox="842 769 1327 814"> 制御順位（各負荷に1～8を設定） </p> <p data-bbox="517 884 1430 1017"> 優先制御およびサイクリック制御における負荷制御順位を設定します。制御順位1の負荷から順に負荷シャ断がおこなわれます。設定がなければ負荷AからHの順で1～8として動作します。 </p> <p data-bbox="517 1039 1430 1278"> この設定では、0および同一順位は設定できません。またスケジュール制御、手動制御対象負荷は制御順位がいくつになっても動作には無関係です。ただし、この設定は全負荷に対しおこなう必要がありますので、スケジュール制御、手動制御対象負荷についても仮の制御順位を設定してください。 </p>

○ 優先制御とサイクリック制御

下記順序で負荷制御された場合、優先制御とサイクリック制御は次のように動作します。

制 御	優 先 制 御								サイクリック制御									
	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	順位	1	2	3	4	5	6	7	8
シャ断		●	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○
"		●	●	○	○	○	○	○	○		●	●	○	○	○	○	○	○
"		●	●	●	○	○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○
投 入		●	●	○	○	○	○	○	○		○	●	●	○	○	○	○	○
"		●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○
"		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
シャ断		●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	○
"		●	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	●	○	○	○
"		●	●	●	○	○	○	○	○		○	○	○	●	●	●	○	○
"		●	●	●	●	○	○	○	○		○	○	○	●	●	●	●	○
"		●	●	●	●	●	○	○	○		○	○	○	●	●	●	●	●
"		●	●	●	●	●	●	○	○		●	●	○	●	●	●	●	●
投 入		●	●	●	●	●	●	○	○		●	●	●	○	●	●	●	●
"		●	●	●	●	●	●	○	○		●	●	●	○	○	●	●	●
"		●	●	●	●	●	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	●
"		●	●	●	●	○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○
"		●	●	○	○	○	○	○	○		○	●	●	○	○	○	○	○
"		●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○
"		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

● シャ断
○ 投 入

優先制御では必ず制御順位1の負荷からシャ断され、最後にシャ断された負荷が最初に投入されます。

一方、サイクリック制御では最初にシャ断された負荷が最初に投入されるので、その結果各負荷のシャ断時間は平均化されます。

3.3.3 時間帯設定

(1) 時間帯設定とは

お客様が電力会社と時間帯調整契約されている場合設定します。

時間帯設定では、各時間帯ごとの目標電力、時間帯区分パターンを設定する必要があります。時間帯パターンは10パターンまで設定できます。

表4に時間帯パターンの例を示します。

表4 時間帯パターン表(例)

時間帯 パターン	月	曜日	時間帯区分						
			0～2	2～6	6～8	8～13	13～16	16～22	22～24
1	一般月	月～金	夜(3)	深々夜(5)	夜(3)	昼(2)			夜(3)
2		土	夜(3)	深々夜(5)	夜(3)	軽負荷(4)			夜(3)
3		日,祝,特	深々夜(5)			夜(3)			深々夜(5)
4	特定月	月～土	夜(3)	深々夜(5)	夜(3)	昼(2)	尖頭(1)	昼(2)	夜(3)
5		日,祝,特	深々夜(5)			夜(3)			深々夜(5)
6	年末年始	深々夜(5)							

()内は目標電力Na

(2) 時間帯設定をおこなう上で必要な設定項目

a. 目標電力

尖頭時，昼間時，夜間時，軽負荷時などの時間帯ごとの目標電力を設定します。詳細は3.3.1 Na 15をご覧ください。

b. 1日の時間帯パターン設定

表4のような時間帯区分パターンを設定します。

パターンは1～10までの10パターン設定できます。

c. 月ごとの曜日別時間帯設定

1～12月の各月の曜日別に時間帯パターンのどれで運用するかを設定します。

d. 特定日の時間帯設定

長期連休などの特定の月日にどの時間帯パターンで運用するかを設定します。

e. 設定を終了したら

b項～d項までの設定が終了したら，設定内容の確認印字をおこない確認してください。修正または変更がある場合は再度設定し直してください。

(注意) 時間帯契約による運用では、各時間帯毎にデマンド合わせをおこなう必要
 があります。なお、デマンド合わせは、その時間帯の期間中におこなっ
 てください。

(3) 設定方法

時間帯指定の設定は下記の手順でおこなってください。

- ① 目標電力の設定
- ② 時間帯パターン設定
- ③ 月ごとの運用時間帯指定
- ④ 特定日の運用時間帯指定
- ⑤ 設定内容確認

a. 目標電力の設定

それぞれの時間帯ごとの目標電力が表5の場合

表5 目標電力

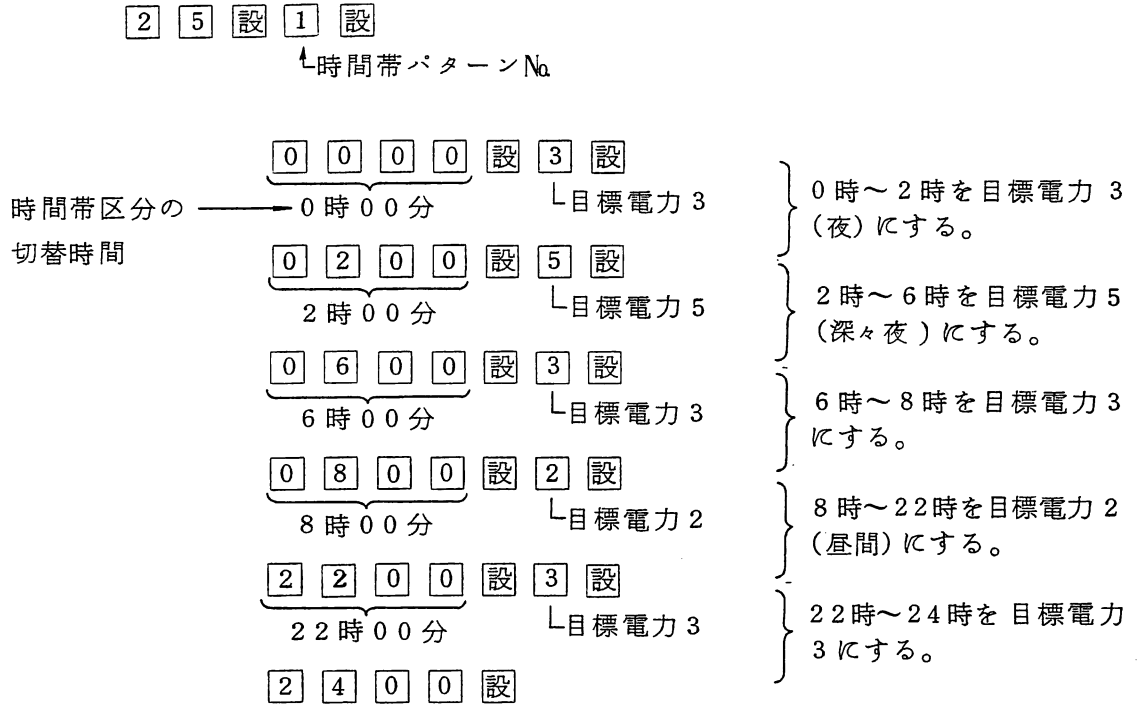
時 間 帯 別	設 定 項 目	目 標 電 力 値 (例)
尖 頭 時	目 標 電 力 1	2 5 0 0 kW
昼 間 時	目 標 電 力 2	2 4 0 0 kW
夜 間 時	目 標 電 力 3	2 3 0 0 kW
軽 負 荷 時	目 標 電 力 4	2 4 0 0 kW
深 々 夜 時	目 標 電 力 5	2 0 0 0 kW

下記のように設定します。

2 4 設 1 設 2 5 0 0 設
 2 4 設 2 設 2 4 0 0 設
 2 4 設 3 設 2 3 0 0 設
 2 4 設 4 設 2 4 0 0 設
 2 4 設 5 設 2 0 0 0 設

b. 時間帯パターンの設定

表 4 の時間帯パターン 1 の設定手順を以下に示します。

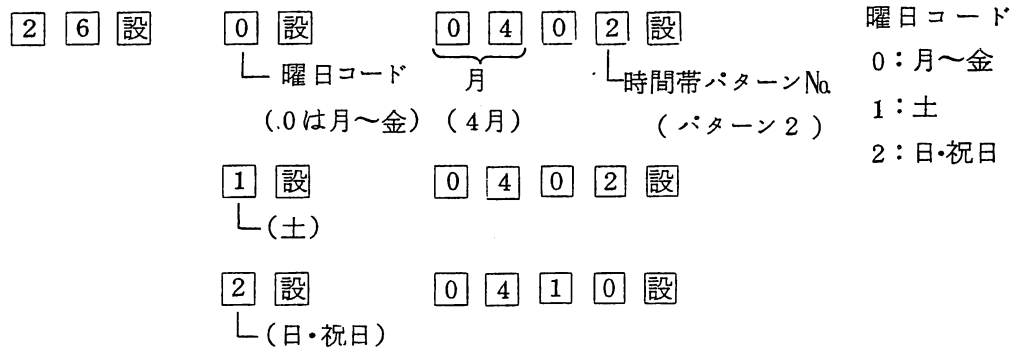


時間帯区分の切替単位は 30 分です。

パターンは 1～10 まで 10 とおり設定できます。

c. 月ごとの時間帯運用設定

例として 4 月の場合の設定手順を以下に示します。



設定終了後は 取消 キーを押してください。

この設定は 1 月から 12 月までの各月すべてにおこなってください。

d. 特定日の時間帯運用設定

例えば5月1日, 5月4日を表4の時間帯パターン2で運用する場合は次のように設定します。

2 7 設
 2 設
 0 5 0 1 設
 ↳ 時間帯パターン 5月 1日
 No.(パターン2)

2 設
 0 5 0 4 設

設定終了後は 取消 キーを押して下さい。

特定日を誤って設定した場合,あるいは以前に設定された特定日を月ごとの運用に変更したい場合は,次のように設定して特定日を取消してください。

例えば5月4日が特定日に設定されていて,それを取消す場合は

2 7 設
 0 設
 0 5 0 4 設

と設定して下さい。

■ 祝日について

本装置で祝日として設定されている月日は次の通りです。

1月1日, 2月11日, 4月29日, 5月3日, 5月4日, 5月5日, 11月3日, 12月23日

■ 変動する祝日について

春分の日(3月21日), 秋分の日(9月23日), ハッピーマンデー(成人の日(1月)、海の日(7月)、敬老の日(9月)、体育の日(10月))は年により変動するので、毎年、特定日設定にて祝日として設定してください。

また、5月3日～4日に日曜日が重なり5月6日が振替休日となる場合も特定日設定にて祝日として設定してください。設定の手順は次の通りです。

- ① 年が変わったら前年の特定日の設定を平日に設定する。
- ② その年の変動する祝日を特定日設定で祝日に設定する。

e. 時間帯設定内容の確認

No.	設定項目	
1.	時間帯全設定項目の確認印字	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> 2 8 設 </div> <p style="text-align: center;">時間帯パターン，月別の時間帯運用設定，特定日の時間帯運用の設定の確認印字をおこないます。</p>

なお，各設定中に 印字 キーを押せば，そのとき設定している内容の確認印字ができます。

3.3.4 スケジュール制御設定

(1) スケジュール制御について

この装置はデマンド監視による負荷制御のほか，タイムスケジュールによる制御ができます。各負荷ごとにデマンド制御，スケジュール制御およびその併用を選ぶことができます。

(2) 設定項目

a. 制御種別（3.3.2 No.2 参照）

スケジュール制御をおこなう負荷は制御種別を必ず「スケジュール制御」または「デマンド+スケジュール制御」と設定してください。

b. スケジュール設定

負荷を投入・シャ断する時刻を設定します。投入・シャ断の切替回数はひとつの負荷について最大16回です。また決まった時間間隔で投入・シャ断をくりかえすデューティ制御の設定もできます。

スケジュールはA～Hそれぞれ別々に設定でき，図7のように4パターン設定できます。

c. 月ごとの運用設定

各月の曜日（平日，土曜，休日）ごとにどのパターンで運用するかを設定します。

d. 特定日の運用設定

夏期連休などでの運用パターン設定をおこないます。

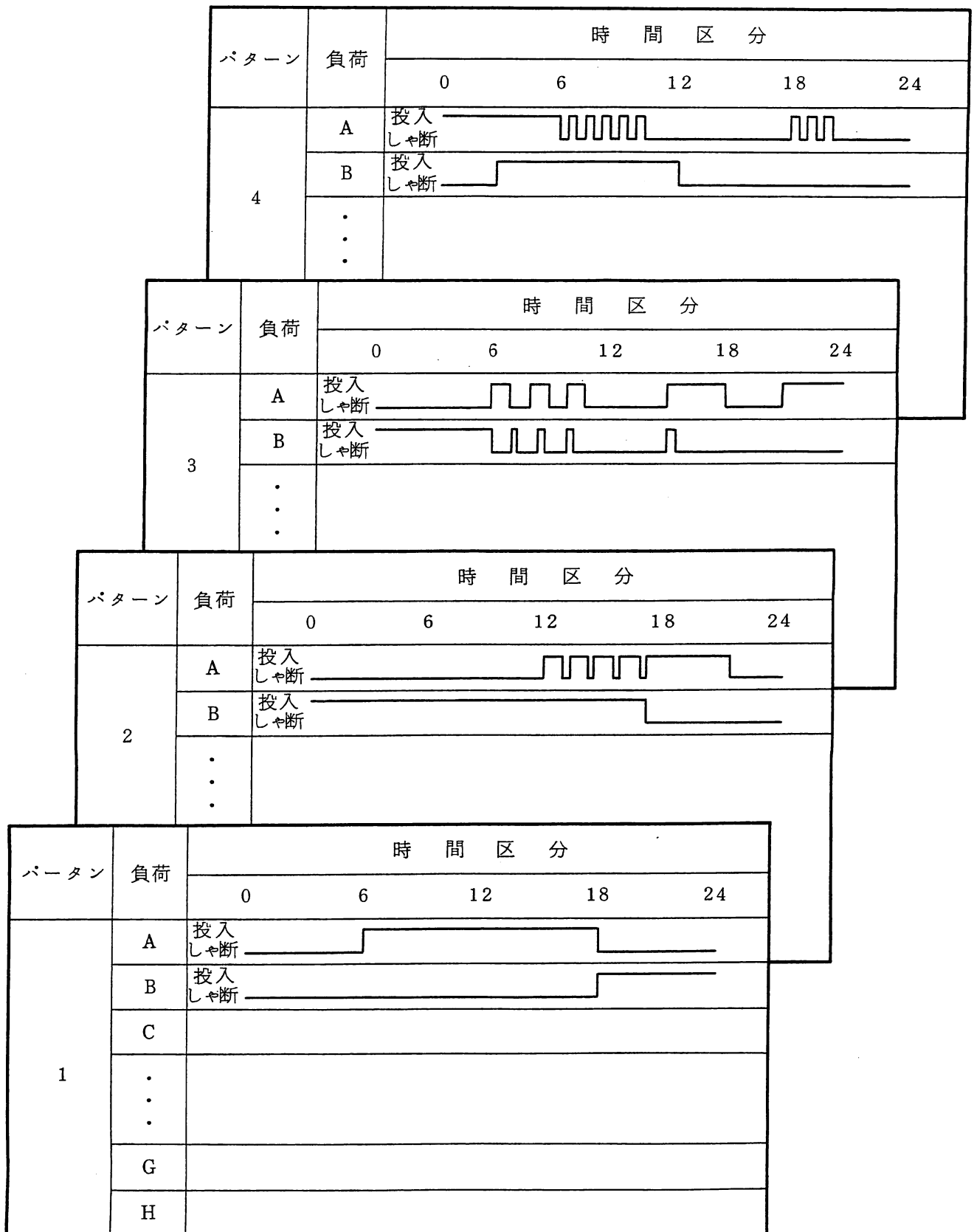
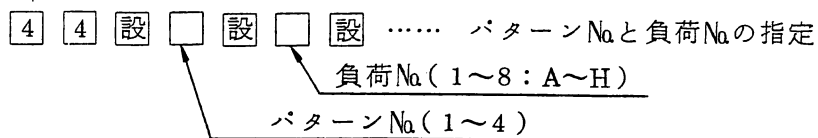


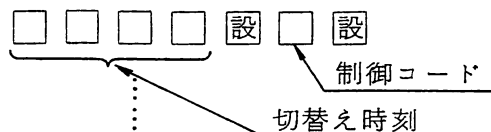
図7 スケジュール制御例

(3) スケジュール設定

1日のスケジュール設定は下記のとおりおこなってください。



続けて切替え時刻と制御コードを入力します。

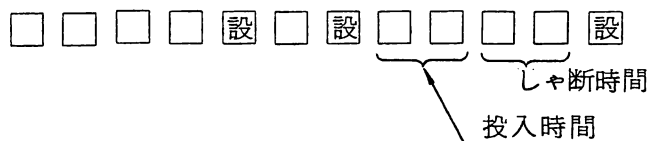


制御コードは 0 : シャ断

1 : 投入

2 : デューティ制御

のどれかを入力します。デューティ制御とは、投入とシャ断を一定サイクルで繰り返す制御のことです。この場合は下のように制御コードに続けて投入時間とシャ断時間を設定してください。

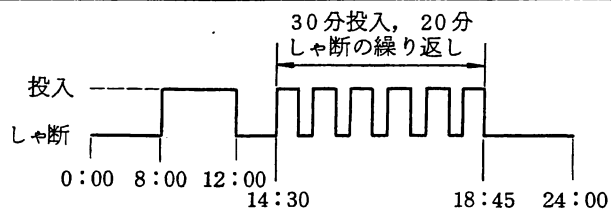


... 終了

※ 切替え回数は16回まで設定できます。また切替時刻は1分単位で設定できます。

シャ断時間と投入時間の設定範囲は0~99分です。)

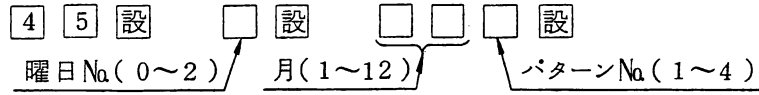
(設定例) パターン2の負荷Dのスケジュールを右図のように設定する例です。



- パターン2, 負荷Dを指定
- 0:00から負荷をシャ断
- 8:00から負荷を投入
- 12:00から負荷をシャ断
- ... 14:30から30分投入20分シャ断の繰り返し
- 18:45から負荷シャ断
- 終了(終了は または です)

(4) 月ごとの運用設定

月ごとの運用設定は下記のとおりおこなってください。



曜日No 0: 月～金曜日

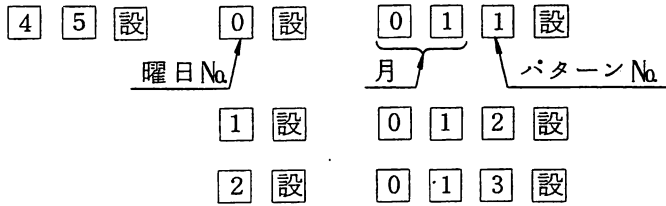
1: 土曜日

2: 日・祝日

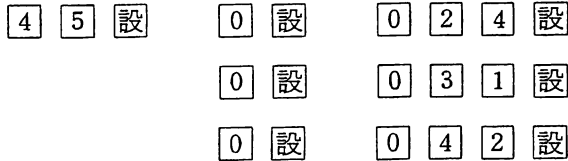
設定終了は **取消** キーを押してください。

※ 設定をしない場合は全てパターン1になります。

例 ○ 1月の平日をパターン1に、土曜日をパターン2に、休日をパターン3に設定する場合



○ 2月の平日をパターン4、3月の平日をパターン1、4月の平日をパターン2に設定する場合



(5) 特定日の運用設定

特定日の設定は下記のとおりにおこなってください。

設 設 設
パターンNo.(1~4) / 月(1~12) / 日(必ず2桁で設定してください)

設定終了は キーを押してください。

例 ○ 4月29日をパターン2, 5月1日~5月5日までをパターン3に設定する場合

<input type="text" value="4"/> <input type="text" value="6"/> 設	<input type="text" value="2"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="9"/> 設
パターンNo.		月, 日
	<input type="text" value="3"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> 設
	<input type="text" value="3"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> 設
	<input type="text" value="3"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="3"/> 設
	<input type="text" value="3"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="4"/> 設
	<input type="text" value="3"/> 設	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> 設
	<input type="text" value="取消"/> (終了)	

■ 祝日について

本装置で祝日として設定されている月日は次の通りです。

1月1日, 2月11日, 4月29日, 5月3日, 5月4日, 5月5日, 11月3日, 12月23日

■ 変動する祝日について

春分の日(3月21日), 秋分の日(9月23日), ハッピーマンデー(成人の日(1月)、海の日(7月)、敬老の日(9月)、体育の日(10月))は年により変動するので、毎年、特定日設定にて祝日として設定してください。

また、5月3日~4日に日曜日が重なり5月6日が振替休日となる場合も特定日設定にて祝日として設定してください。設定の手順は次の通りです。

- ③ 年が変わったら前年の特定日の設定を平日に設定する。
- ④ その年の変動する祝日を特定日設定で祝日に設定する。

(6) スケジュール制御設定内容の確認

No	設定項目				
1.	スケジュール制御 全設定項目の確認 印字	<table border="1"><tr><td data-bbox="544 376 592 416">4</td><td data-bbox="592 376 639 416">7</td><td data-bbox="639 376 687 416">設</td></tr></table> <p>スケジュール制御パターン，月ごとの運用設定，特定日の運用設定の確認印字をおこないます。</p>	4	7	設
4	7	設			

なお，各設定中に

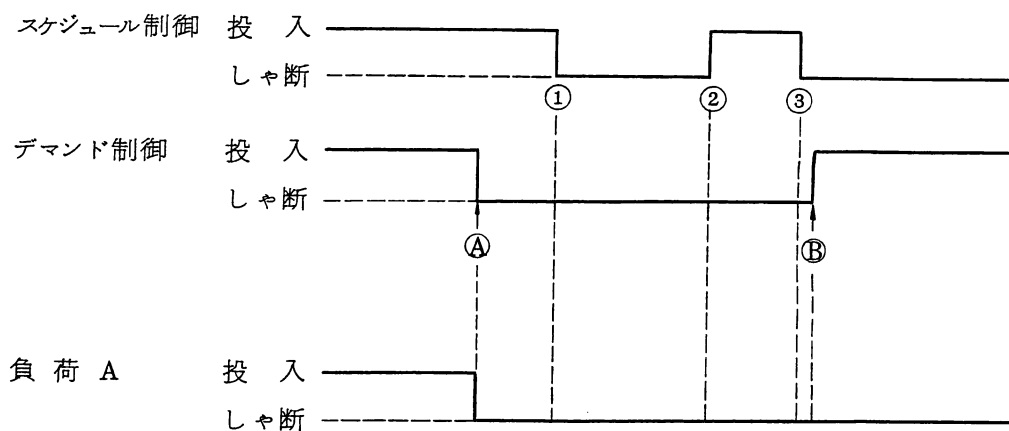
印字

 キーを押せば，そのとき設定している内容の確認印字ができます。

(7) デマンド制御とスケジュール制御を併用したときの動作

デマンド制御とスケジュール制御を併用したときは、デマンド制御による負荷しゃ断が優先されます。

例)



上図の場合（負荷Aをデマンド制御とスケジュール制御同時におこなった場合は、まず、デマンド制御Aの所で警報が発令され、負荷Aがしゃ断されます。

スケジュール制御①の所で負荷Aをしゃ断するが、負荷Aはデマンド制御によりしゃ断されているので、この時は何もしません。

次に②の時は、スケジュール制御に関しては負荷は投入されるはずですがデマンド制御においては負荷はしゃ断されたままです。この場合負荷Aはしゃ断されています。

③の時はデマンド制御では、警報が解除され負荷は投入されるはずですが、スケジュール制御で負荷がしゃ断されていますので、負荷Aはしゃ断状態となります。

※ デマンド制御とスケジュール制御を同時におこなうとき、負荷制御はしゃ断が優先されます。

3.3.5 その他の設定（自己診断）

(1) 表示・印字テスト（**9** **7** **設定**）

表示およびリレー出力は下表のようになります。

ステップ	数字LED 全 12 桁	ラ ン プ LED								負 荷 制 御 A B C D E F G H	警 報 1 2 限 停 段 段 界 電	プザー
		予測 電力	目標 電力	現在 電力	調整 電力	残り 時間	現在 時刻	超過	余裕			
0	0	○	●	●	●	●	●	●	●	○●●●●●●●●●●	○●●●●	OFF
1	1	●	○	●	●	●	●	●	●	●○●●●●●●●●●●	●○●●●	OFF
2	2	●	●	○	●	●	●	●	●	●●○●●●●●●●●●●	●●○●●	OFF
3	3	●	●	●	○	●	●	○	●	●●●○●●●●●●●●●●	●●●●●	OFF
4	4	●	●	●	●	○	●	●	○	●●●●○●●●●●●●●●●	●●●●●	ON
5	5	●	●	●	●	●	○	●	●	●●●●●○●●●●●●●●●●	●●●○●	OFF
6	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●●●●●●○●●●●●●●●●●	●●●●●	OFF
7	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●●●●●●●○●●●●●●●●●●	●●●●●	OFF
8	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●	OFF
9	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●	OFF

(注) 負荷制御と警報のリレー出力は表示と同じです。

(2) 印字テスト（**9** **8** **設定**）

印字テストをおこなうと下記のように印字されます。

```

KH8 PRINTER TEST V2.0
!"#$%&'()*+,-./
0123456789:;<=>?
@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[*\]_
`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
「」・フアイヤヤヤヤ
-アイエオカクサシツ
チフデトニホヘアハチ
ミメヤヤヤリリロワ
    
```


(3) 設定内容確認印字 (9 9 設定)

設定内容確認印字をおこなうと下記のように印字されます。

コードNo.	No.	データ	
11		01:06 現在時刻
12		05-01-03 現在日付
13	1	00001 パルス定数(パルス1)
13	2	02000 パルス定数(パルス2)
14	1	20 合成変成比(パルス1)
14	2	2000 合成変成比(パルス2)
15	1	1 乗率(パルス1)
15	2	1 乗率(パルス2)
16		1 パルス積算時間
17		00 警報ロック時間
18		1 ブザー禁止
19		0 パルス合成演算
20		30 デマンド時限
21		0 停電復帰動作
22		1 デマンド時限同期方式
23		1000 遮断不可能電力
24	1	1800 目標電力(1~5)
24	2	1800	
24	3	1800	
24	4	1800	
24	5	1800	
30	A	100 負荷電力(A~H)
30	B	100	
30	C	100	
30	D	100	
30	E	100	
30	F	100	
30	G	100	
30	H	100	
40		00000000 制御種別
41		00000000 最小制御時間
42		0 優先/サイクリック
43		12345678 優先制御順位
51		0 印字禁止
52		00000000 項目印字禁止
53		00 日報印字時刻
54		00 月報印字日
55		0 データ出力2伝送方法

4. 緊急時の処置

下記のような動作をおこない、それが復帰しない場合は、電源を開放(OFF)し、お買求め先あるいは当社までご連絡ください。

- (1) 自己診断異常警報が発生した場合には、AC電源スイッチを「OFF」にし、警報表示が消えた後に再び「ON」にしてください。

数回、この操作をおこなっても回復しない場合は、しばらく様子を見てから再度試みてください。

- (2) AC電源を「ON」しているにもかかわらず、「電源」表示が点灯しない場合、「電源ヒューズ」が切れている場合があります。付属の「筒形ヒューズ5A」と交換してください。交換後も再びヒューズがすぐ切れる場合、もしくは、ヒューズは切れていないが「電源」表示が点灯しない場合は、使用を中断してください。

- (3) 本装置は、ノイズによる誤動作などのないよう万全の注意を払って設計、製作されていますが、使用環境条件等によっては、非常に大きなノイズの影響を受け通常とは異った動作をすることがあります。(たとえば、数字表示がすべて8888となるプリンタの印字動作が止まらなくなるなど)この場合には、装置に対し、イニシャライズ(クリア)をかけることが必要となります。

クリアをかける場合は、次のようにします。

- ① AC電源を「OFF」にする。
- ② 「停電補償用バッテリースイッチ」を「OFF」にして15～20分そのままにしておく。
- ③ AC電源を「ON」にして、「停電補償用バッテリースイッチ」を「ON」にする。
- ④ 基本動作確認および各項目設定・確認をおこなう。
- ⑤ 「デマンド開始」によりスタートする。

5. 保守・点検

(1) 停電点検

停電補償時間を超える停電があった場合、停電回復時に「停電」表示が点灯しブザーが鳴ります。

この場合、計時および集計内容はこわされ設定データは初期値に戻っていますので設定項目を確認し、再設定することが必要です。

(2) 記録紙補給

記録紙の残量をチェックし使いきる前に新しいものと交換してください。交換方法は3.1.1 用紙のセットの項をご参照ください。

(3) プリンタヘッド清掃

印字のカスレ、欠けが起った場合は記録ヘッドを清掃してください。印字カスがついているおそれがあります。

記録ヘッドの印字カスは、紙切りを取りはずし、「はけ」または「ふで」で取り除きます。

98「印字テスト」でご確認ください。

(4) 出力リレー点検

警報または負荷制御出力が動作不良の場合、項目コード97「表示・出力テスト」によりフロントパネルの警報（1段，2段，限界，高負荷）および負荷制御（A～H）表示とリアパネル端子部でのリレー出力状態が一致しているかを比較，確認してください。

付1 動作原理

1.1 演算式

本装置での各種演算は次の式でおこないます。

(1) 一次側電力換算係数

入力パルスが1つ入るごとに、現在電力表示は次式で表わされる電力値で積算されていきます。これを一次側電力換算係数 m (kW/Pulse) とすると

$$m(\text{kW/Pulse}) = \frac{60(\text{分})}{\text{デマンド時限}(\text{分})} \times \frac{\text{合成変成比}}{\text{パルス定数}(\text{pulse/kWh})} \times \frac{1}{\text{乗率}}$$

(2) 現在電力

時限開始から現時点までのデマンド値を表わします。

$$\text{現在電力}(\text{kW}) = m \times \text{パルス積算数}$$

(3) 予測電力

時限開始からの電力使用状況により、時限終了時に到達するであろう電力値で表わします。

$$\text{予測電力}(\text{kW}) = \text{現在電力}(\text{kW}) + m \times \frac{\text{パルス積算時間内のパルス積算数}}{\text{パルス積算時間}(\text{分})} \times \text{残り時間}(\text{分})$$

(4) 調整電力

時限終了時に、使用電力と目標電力を一致させるに必要な調整電力値で表わします。

$$\text{調整電力}(\text{kW}) = \frac{\text{デマンド時限}(\text{分})}{\text{残り時間}(\text{分})} \times [\text{予測電力}(\text{kW}) - \text{目標電力}(\text{kW})]$$

なお、調整電力(kW) < 0 のときは「余裕」

調整電力(kW) ≥ のときは「超過」を表わします。

(5) 限界電力

$$\text{限界電力} = \text{目標電力} - \left(\text{遮断不可能電力} \times \frac{\text{残り時間}}{\text{時限}} \right)$$

1.2 基本動作

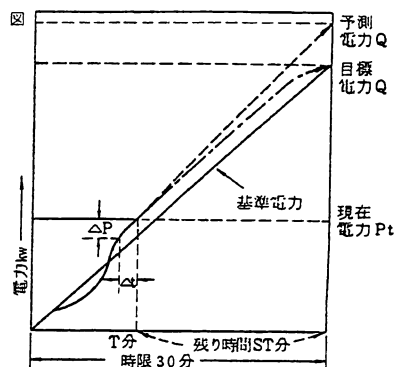
図において、デマンド開始からT分までの現在電力を p_t 、T分より前 Δt 分における平均電力を ΔP としますと、予測電力 Q' は次の式で表わします。

$$\text{予測電力 } Q' = \text{現在電力 } p_t + \Delta P / \Delta t \times ST \quad ST: \text{残り時間(分)}$$

予測電力 Q' の推移線(点線)を目標電力 Q に制御するためには残り時間 ST (分)の間に現在電力を調整する必要があります。この調整しなければならない電力を U とすると、 U は次の式で表わされます。

$$\text{調整電力 } U = (\text{予測電力 } Q' - \text{目標電力 } Q) \times \frac{30}{ST} \quad \frac{30}{ST} : \text{kW 換算係数}$$

この調整電力 U が、 $U > 0$ の時は、目標電力を超過する危険性があるため、負荷 \uparrow 断の調整を必要とし、逆に $U < 0$ の時は、余裕となるため負荷投入が可能になります。東芝デマンド監視制御装置はこの原理に基づき、マイクロコンピュータによる演算により、超過、余裕の調整値を計算します。同時に警報、負荷制御信号を出力することにより、負荷の投入、 \uparrow 断を自動的にを行います。



1.3 警報・制御動作

動作	条件
<p>第1段警報</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①デマンド開始より残り時間6分までは現在電力\geqその時の基準電力、しかも予測電力\geq目標電力の時、警報を発生します。 ②残り時間5分よりデマンド終了までは予測電力\geq目標電力だけで警報を発生します。 ③警報解除、現在電力$<$その時の基準電力しかも予測電力$<$目標電力の時、または第2段警報が出力されているときは、第2段警報が解除されるまで、第1段警報は解除されません。
<p>第2段警報</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①第1段警報レベルを超え、しかも調整電力(超過)\geqその時の\uparrow断電力の時、第2段警報を出力します。なお、\uparrow断順位は負荷制御レベル設定に従い、サイクルまたは優先制御方式のいずれか設定された制御種別で負荷制御信号を出力します。 ②警報解除、予測電力$<$目標電力の時、警報を解除します。ただし、負荷投入は第1段警報の解除を伴うまでに行いません。
<p>限界警報</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①現在電力が限界警報ラインに達した時警報を発生します。 ②現在電力が限界警報ラインを下まわり1分以上持続した時警報を解除します。

1.4 負荷制御

	条件
<p>デマンド監視制御 (8回路の制御) 負荷A \uparrow断 投入</p> <p>優先順位制御</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>...</p> <p>H</p>	<p>第2段警報出力時に負荷\uparrow断信号を発生します。負荷の重要度に合わせて、制御する方式です。重要度の低い回路をA, B, C, D, ... Hの順に設定しますと、負荷\uparrow断指令ごとにAから順に\uparrow断され、逆に投入指令が出た場合、重要度の高い方(最後に\uparrow断された回路)から、負荷の投入が行われます。</p>
<p>サイクリング制御</p> <p>負荷A \uparrow断 投入</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>...</p> <p>H</p>	<p>負荷の\uparrow断時間を均等化する制御方式です。A, B, C, D ... Hの各回路は、同等ですので仮に負荷\uparrow断指令ごとAから順に\uparrow断され、逆に投入指令が出た場合、最初に\uparrow断されている負荷から順次、投入が行われます。</p>
<p>スケジュール制御</p> <p>8:00 12:00 13:00 22:00</p> <p>ON OFF ON OFF</p> <p>1日のパターン</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 1日のON OFF回数: Max 16回 • スケジュールは1年間 • 1日の時間帯パターン, 月別時間帯パターン, 特定日パターンによるスケジュールリング
<p>デューティ制御</p> <p>ON OFF ON OFF ON OFF</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デューティはON: Max 99分 OFF: Max 99分 • スタート時刻(ON), ストップ時刻を設定する ※スケジュール制御, デューティ制御のプログラミングは

付2. 印字例

(1) 電源投入時

BATT DOWN

(2) 停電復帰時

AC OFF 02-00:27
AC ON 02-00:28

停電発生時刻(日、時、分)
停電回復時刻(日、時、分)

(3) 日付・時刻設定時

ヒアキ ヲツイ 05-08-01 年、月、日設定時
ジノカ ヲツイ 08:00 時刻設定時

(4) デマンド開始時

08:05 デマント* カイシ

デマント開始時刻

(5) デマンド印字

08:35 1640 kW

デマント時限終了時刻

(6) 正時印字

18:00 1098 kWh
(No.1 1098kWh No.2 617kWh)

正時に前1時間分の使用電力量を印字

(7) 警報発生時

01-10:00 86 2627 +845
71*9 AA-

日、時刻、現在電力、予測電力、調整電力(+印:超過)
警報印字マーク(1段、2段、限界 A印:発生)

(8) 負荷制御時

01-10:00 86 2627 +845
71*9*3 *

日、時刻、現在電力、予測電力、調整電力(+印:超過)
負荷制御印字マーク(*印:制御)

(9) 任意印字

コノ イツク 05-08-01 MON 年、月、日、曜日
10:03 186 2511 +794 26.45 時刻、現在電力、予測電力、調整電力、残り時間
71*9 ---71*9*3 警報発生、負荷制御状態
ニシイキ 1966 カシイキ 1966 日累積電力量、月累積電力量
ニツイツイ 1640 カシイツイ 1540
カシイ 1 93 カシイ 2 0 日最大デマンド値、月最大デマンド値

(10) 時間帯切替時

02:00 0 kW
T3(700)->T5(550)

時刻、前時間帯デマンド値
目標電力3(700kW)から目標電力5(550kW)へ切替

(11) 手動負荷ON設定時

11:10 カシイ 71 ON-A

設定時刻、負荷No

(12) 手動負荷OFF設定時

11:11 カシイ 71 OFF-A

設定時刻、負荷No

(13) 時間帯設定確認印字

```
パターン 01
33 33 55 55 55 55 33 33
22 22 22 22 22 22 22 22
27 27 22 22 22 22 33 33
```

1日の目標電力のパターン

```
パターン 10
55 55 55 55 55 55 55 55
55 55 55 55 55 55 55 55
55 55 55 55 55 55 55 55
```

シフト別パターン 月別のパターン

シフト	MON-FRI	SAT	SUN
01	01	03	10
02	01	03	10
03	01	03	10
04	01	03	10
05	01	03	10
06	02	03	10
07	02	03	10
08	02	03	10
09	02	03	10
10	01	03	10
11	01	03	10
12	01	03	10

シフト別パターン 特定日のパターン(設定した時のみ印字)

No.	トピック	パターン
001	01-10	10
002	03-21	10
003	07-18	10
004	09-19	10
005	09-23	10
006	10-10	10

(14) スケジュール設定確認印字

```
パターン 1 7カ A 負荷毎の1日の制御パターン(設定した負荷のみ印字)
00:00 OFF
08:00 ON
20:00 OFF
```

```
パターン 2 7カ A
00:00 OFF
08:00 15-15
20:00 OFF
```

```
パターン 3 7カ A
00:00 OFF
```

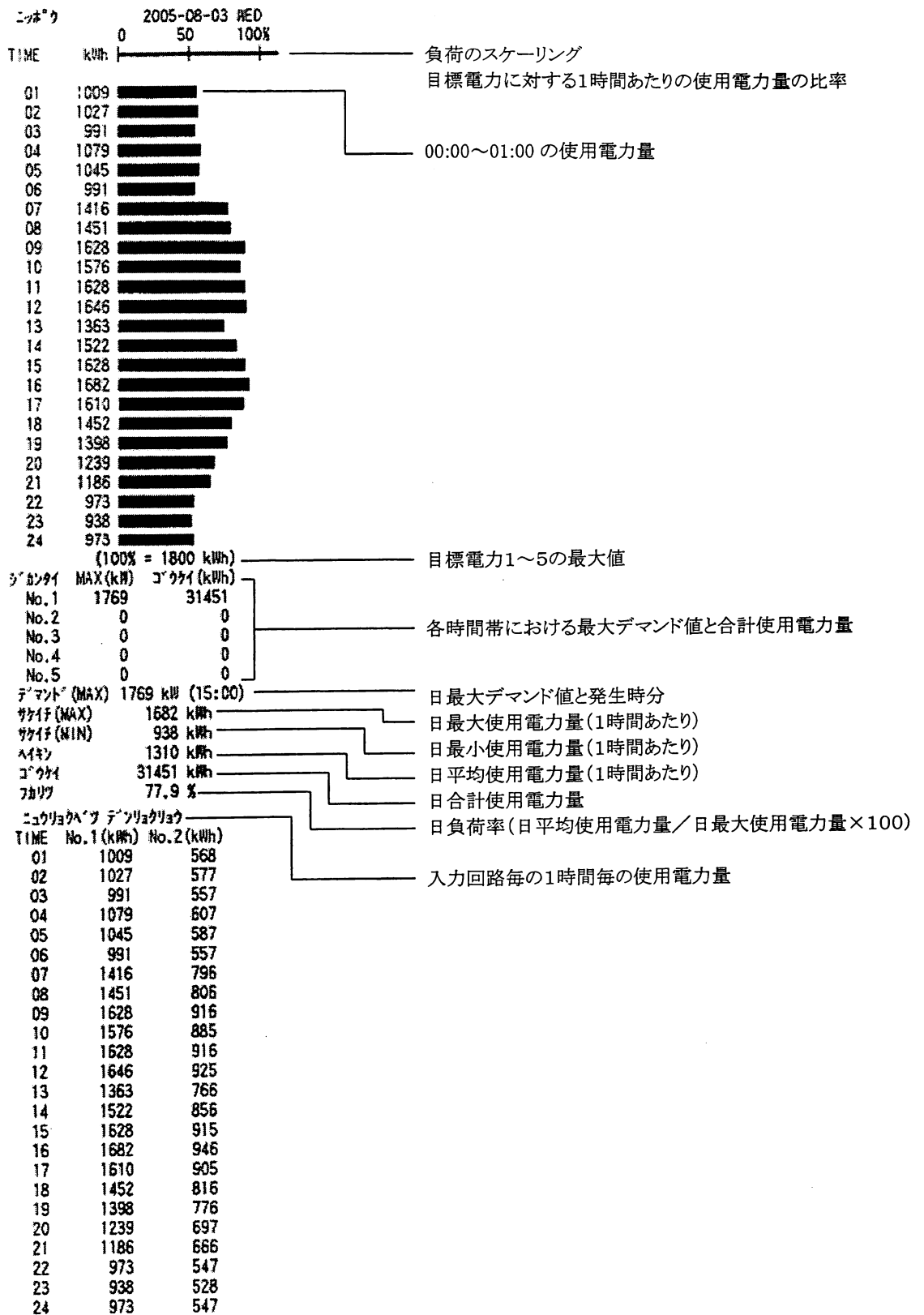
スケジュール別パターン 月別のパターン

シフト	MON-FRI	SAT	SUN
01	1	2	3
02	1	2	3
03	1	2	3
04	1	2	3
05	1	2	3
06	1	2	3
07	1	2	3
08	1	2	3
09	1	2	3
10	1	2	3
11	1	2	3
12	1	2	3

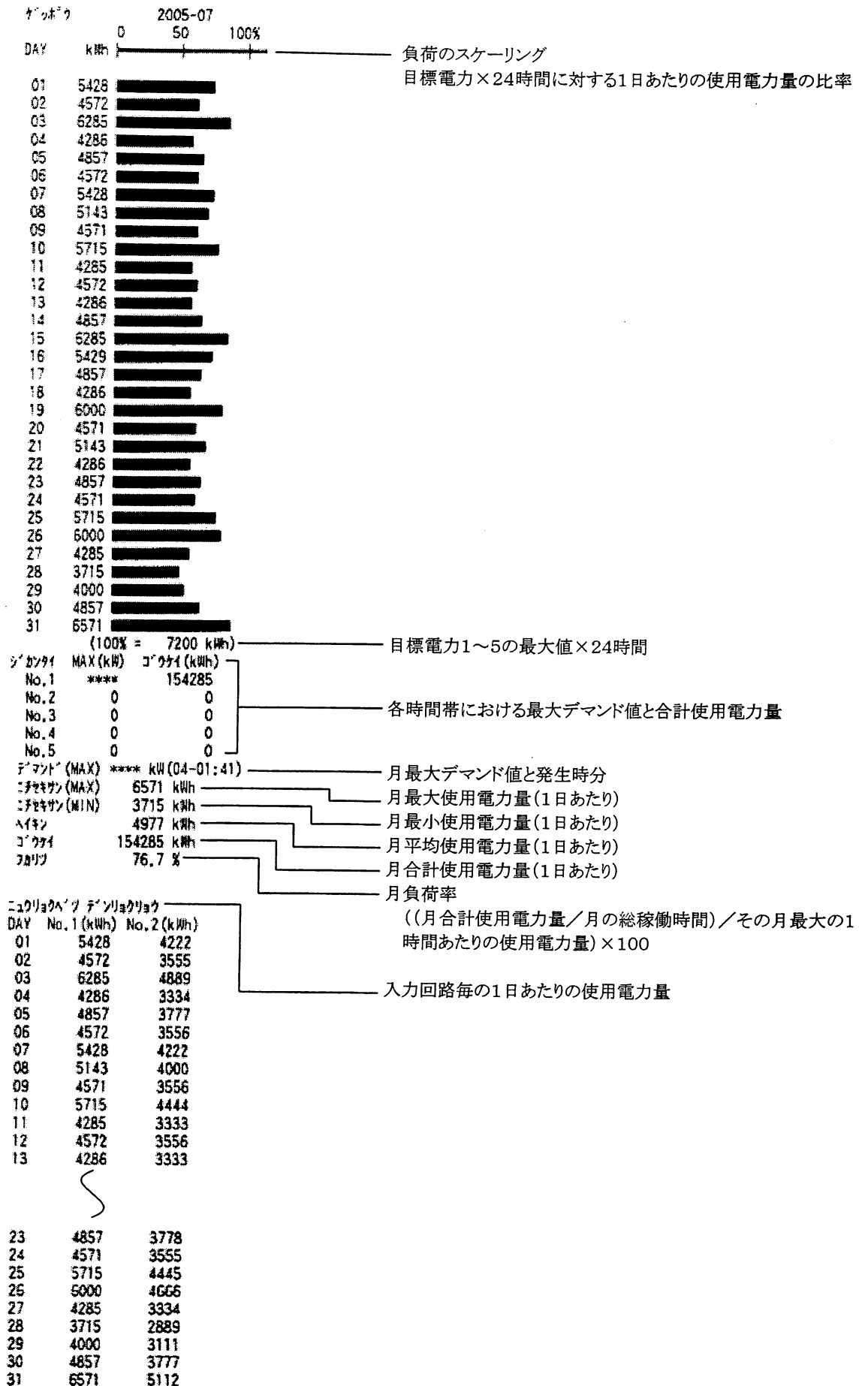
スケジュール別パターン 特定日のパターン(設定した時のみ印字)

No.	トピック	パターン
001	01-10	03
002	03-21	03
003	07-18	03
004	09-19	03
005	09-23	03
006	10-10	03

(15) 日報



(16) 月報



付3 設定項目一覧

設定項目	設定項目コード	キ ー 操 作 順 序	設定範囲	初期値
デマンド開始	10設	10設		
時刻設定	11設	11設 □□□□設 時 分	00時00分 ~23時59分	00時00分
日付設定	12設	12設 □□□□□□設 年 月 日 (西暦の下2桁)	(20)05年1月1日~ (20)99年12月31日	05年1月1日
パルス定数	13設	13設 □設 □□□□□設 パルス入力No (1または2) パルス定数 (1~50000)	1~50000 pulse/kWh	2000 pulse/kWh
合成変成比	14設	14設 □設 □□□□□□設 パルス入力No (1または2) 合成変成比 (1~999999)	1~999999	2000
乗 率	15設	15設 □設 □□□設 パルス入力No (1または2) 乗率 (1, 10, 100)	1, 10, 100	1
パルス積算時間	16設	16設 □設 パルス積算時間(1~5分)	1~5分	1分
警報ロック時間	17設	17設 □□設 警報ロック時間(0~60分)	0~60分	0分
ブザー禁止	18設	18設 □設 0: ブザー鳴動 1: ブザー禁止	0, 1	0
パルス合成演算	19設	19設 □設 0: パルス合成しない 1: パルス1+パルス2 2: パルス1-パルス2	0~2	0
デマンド時限	20設	20設 □□設 デマンド時限 (15, 30, 60分)	15, 30, 60分	30分

設定項目	設定項目コード	キー操作順序	設定範囲	初期値
停電復帰動作	21 設	21 設 □ 設 0:継続 1:終了	0, 1	0
デマンド時限同期方式	22 設	22 設 □ 設 0:デマンド同期 1:正時合わせ	0, 1	0
遮断不可能電力	23 設	23 設 □ □ □ □ 設 遮断不可能電力 (0~9999)	0~9999 kW	1000 kW
目標電力	24 設	24 設 □ 設 □ □ □ □ 設 目標電力Na (1~5) 目標電力 (0~9999)	0~9999 kW	1800 kW
1日の時間帯パターン設定	25 設	25 設 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 設 □ 設 パターンNa (1~10) 時 分 目標電力 Na(1~5) 切替時刻 □ □ □ □ □ □ 設 □ 設 2400 設 終了時刻		
月ごとの曜日別時間帯設定	26 設	26 設 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 設 曜日コード (1~12月) 月 月 目標電力 Na(1~10) 0:平日 1:土曜 2:日・祝日	月:1~12月 パターンNa:1~10	
特定日の時間帯設定	27 設	27 設 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 設 パターンNa (1~10) 月 日	1月1日~ 12月31日 (2月29日も) 設定可	
時間帯設定内容確認印字	28 設	28 設		
負荷電力	30 設	30 設 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 設 負荷Na (1~8:A~H) 負荷電力 (0~9999)	0~9999 kW	100 kW

設定項目	設定項目コード	キー操作順序	設定範囲	初期値
制御種別	4 0 設	4 0 設 <input type="checkbox"/> 設 <input type="checkbox"/> 設 負荷No (1~8:A~H) 負荷制御種別 0: デマンド制御 1: スケジュール制御 2: デマンドとスケジュール制御の併用 3: 手動制御(投入) 4: " (遮断)	0~4	0
最小制御時間	4 1 設	4 1 設 <input type="checkbox"/> 設 <input type="checkbox"/> 設 負荷No (1~8:A~H) 最小制御時間 (0~9分)	0~9分	0分
優先/サイクリック	4 2 設	4 2 設 <input type="checkbox"/> 設 0: 優先制御 1: サイクリック制御	0, 1	0
制御順位	4 3 設	負荷 A B C D E F G H 4 3 設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 制御順位 (各負荷に1~8を設定)	A~H: 1~8 (同一順位 設定不可)	A~H: 1~8
1日のスケジュール設定	4 4 設	4 4 設 <input type="checkbox"/> 設 <input type="checkbox"/> 設 0 0 0 0 設 パターンNo (1~4) 負荷No (1~8:A~H) 開始時刻 終了時刻 制御コード 0: 遮断 1: 投入 2: デューティ制御		
月ごとの運用設定	4 5 設	4 5 設 <input type="checkbox"/> 設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 曜日コード 0: 平日 1: 土曜 2: 日・祝日 月 (1~12月) パターンNo (1~4)	月: 1~12月 パターンNo: 1~4	

設定項目	設定項目コード	キー操作順序	設定範囲	初期値
特定日の運用設定	46設	46設 <input type="checkbox"/> 設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 パターンNo (1~4) 月 日	1月1日~ 12月31日 (2月29日も) 設定可	
スケジュール制御設定内容の確認印字	47設	47設		
プリンタ印字禁止	51設	51設 <input type="checkbox"/> 設 0: 印字 1: 印字禁止	0, 1	0
項目別印字禁止	52設	a b c d e f g h 52設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 a. デマンド時限印字 b. 正時印字 (使用電力量を正時ごとに印字) c. 警報印字 d. 負荷制御印字 e. 時間帯切替印字 f. 日報印字 g. 月報印字 h. 日報、月報の入力別電力印字 0: 印字 1: 印字禁止	0, 1	0 (a~h全て)
日報印字時刻	53設	53設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 日報印字時刻	0~23時	0時
月報印字日	54設	54設 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設 月報印字日	0~31日 (0:月末日)	0 (月末日)
データ出力2の10秒伝送設定	55設	55設 <input type="checkbox"/> 設 0: 10秒伝送 1: 10秒伝送停止	0, 1	0
表示テスト	97設	97設		
印字テスト	98設	98設		
設定内容確認印字	99設	99設		

TOSHIBA